

■橋本増治郎 実業家。わが国自動車工業のパイオニア。小型車の代名詞“ダットサン”とタクシーが登場する契機をつくった。

はしもとますじろう

初の民間工場1875＝ 愛知県額田郡柱村(岡崎市柱町)で、生まれる。

明治14年政変1881＝ 6歳：

秩父事件・・・1884＝ 9歳：

郡司千島探検1893＝18歳：

日清戦争始・・・1894＝19歳：

日清戦争終・・・1895＝20歳：東京工業学校工芸部機械科卒業。

白馬会・・・1896＝21歳：名古屋第三師団工兵第三大隊に入隊，

Bushidou・・・1899＝24歳：満期除隊し，

ヒノ/国産化・・・1900＝25歳：住友工業に入社し，新居浜の機械課に勤めるうち，渡米を志し，

教科書疑獄・・・1902＝27歳：_恩師手島精一に相談，その推薦で，

農商務省の海外実業練習生としてアメリカに派遣され，蒸気機関製造のマッキントシュ社に入社，キャブ
ラック等の生みの親ヘンリー・リーランドとの面会もあって，自動車製造を志すようになり，

日露戦争終・・・1905＝30歳：日露戦争に応召となり，帰国。留守第三師団付きを経て，越中島鉄工所技師長となる。

韓国反日暴動1907＝32歳：_九州炭鉱汽船技師となって，社長の田健治郎・役員の竹内明太郎と出会い，

_同郷・同級の通信省技師青山禄郎も加わって，彼らの支援で，

大逆事件判決1911＝36歳：*自動車の国産化を企図して，{快進社}自働車工場を設立し，

明治天皇没・・・1912＝37歳：

大正政変・・・1913＝38歳：*“ダット号”製造に成功，(DATは上記3人の頭文字による)

第一次大戦始1914＝39歳：_大正博覧会に出品し，銅牌を獲得。

民本主義・・・1916＝41歳：工業視察のため，再渡米。

本格政党内閣1918＝43歳：_ {快進社}を資本金60万円の株式会社に改組し，社長となる。

大暴落・・・1920＝45歳：

原敬首相暗殺1921＝46歳：

関東大震災・・・1923＝48歳：*豊島～目白間乗合自動車を始める。

護憲三派圧勝1924＝49歳：_同社を軍用自動車補助法の有資格会社とし，

治安維持法・・・1925＝50歳：_合資会社ダット自動車商会に変更して，代表社員となる。

円本時代始・・・1926＝51歳：_乗合自動車は市営に。同社と実用自動車を合併させて{ダット自動車製造}を設立し，専務取締役となり，

世界恐慌・・・1929＝54歳：

海軍軍縮条約1930＝55歳：_東京小石川区白山下に営業所を設けて，団体タクシーを始める。

満州事変・・・1931＝56歳：*戸畑鋳物によってダット自動車製造の株式の大半が買収されると，実業界の第一線から引退。

この年，同社が製造した新小型四輪車が，

五一五事件・・・1932＝57歳：“ダットサン”と命名され，

国際連盟脱退1933＝58歳：東京目白に，武蔵野モーター研究所を開設。

帝人疑獄事件1934＝59歳：日産自動車がアメリカの会社の設備を買収して“ダットサン”の量産を開始，戦前の小型車の代名詞となって，
間接的ながら自ら抱いていた自動車国産化の夢が実現。

日中戦争始・・・1937＝62歳：

健保+総動員 1938＝63歳：

その後も研究所で，自動車や発動機の研究を続けるが，

日米開戦・・・1941＝66歳：

年金+総武装 1944＝69歳：_没した。